

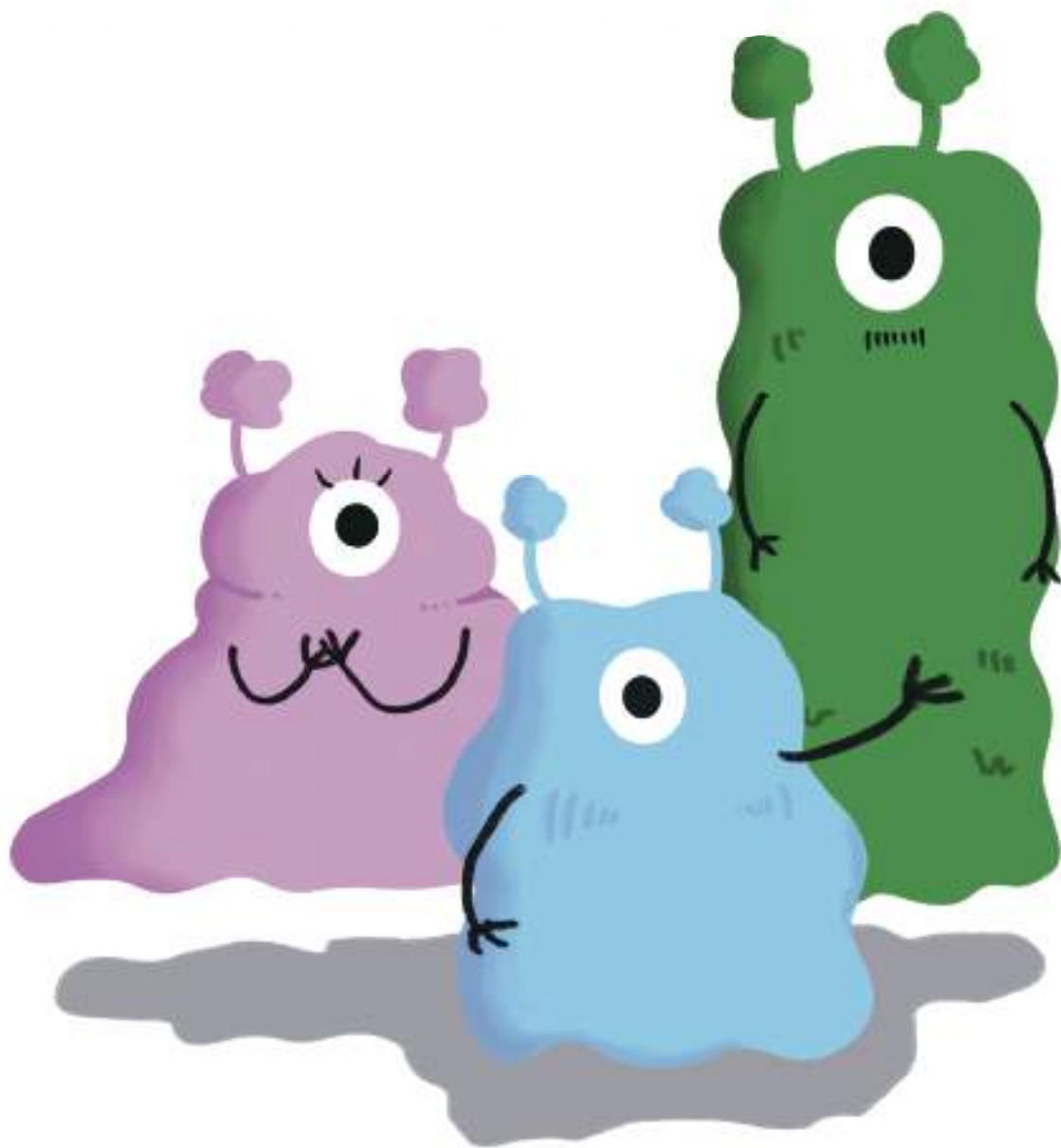
うちゅうじん
と
ソファ



ぼくたちは うちゅうじん。

ちきゅうじんには ひみつで かんこうに きている。

ちきゅうは とっても おもしろいね。





ブルブル さむいところや ムシムシ あついところ。



いろいろな どうぶつたちにも あってきたんだ。



「さあみんな。そろそろ いえに かえろうか。」
そういうと パパは ふわふわ うちゅうせんへ。






あれは なんだろう？

うちゅうせんの そばに おおきなものが おちていた。

とても さわりごこちが いいので

ぼくはこれを ちきゅうのおみやげ として もっていくことにした。





ぼくたちの ほしは ちきゅうの おとなり。
ちいさいから あまり しられていないんだ。
さあ このまま まっすぐ ビューンと ひとつとび！

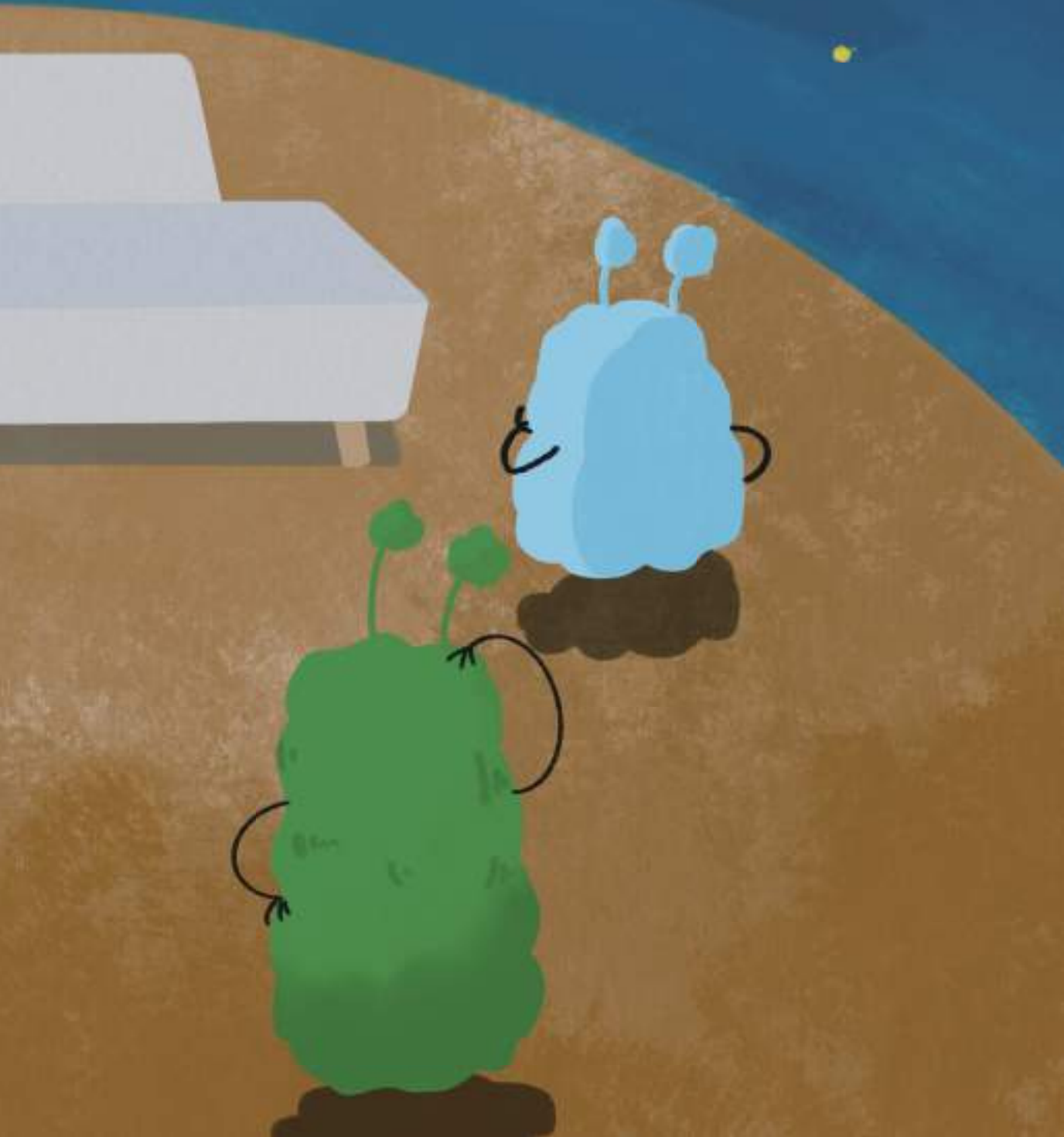
さっそく おみやげを おいてみた。
ぼくより とっても おおきくて
フカフカで おもたい。



「これは いったい なにかしら？」

「ちきゅうで こんなものを みただろうか。」

ママとパパは うーんと かんがえた。

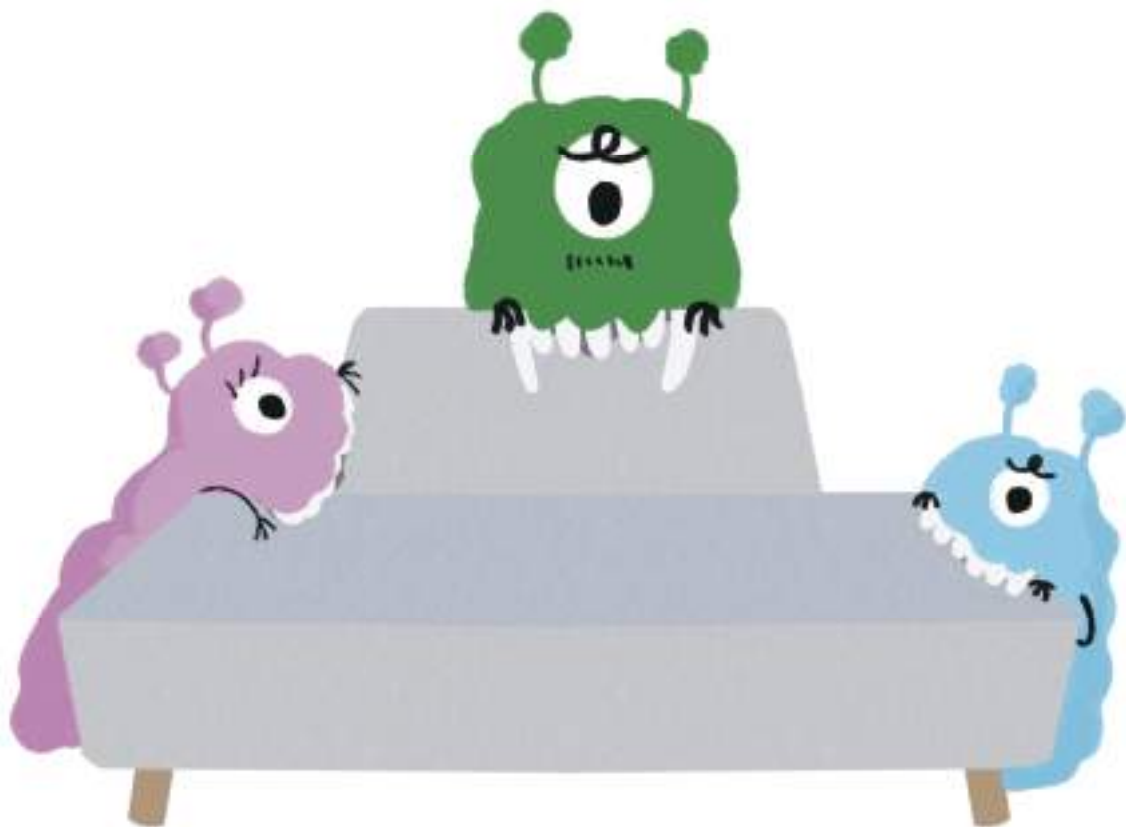


かんがえても かんがえても

なかなか おもいつかない。

これは いったい なんなんだ？

すると とつぜん パパが ひらめいた。



「きっと たべものだ！ みんなで かんで見よう。」

パパの おおきなキバでも かたくて かめない。

★
「こうなったら しかたがない。

ぼうや ちきゅうじんに つかいかたを まなぶんだ。

パパの ぼうえんきょうで ちきゅうを のぞいてごらん。」

わかった！ ぼくに まかせて！



と丸

と丸



ここは ブルブル さむいところだ。

おおきな こおりが たくさんあったな。

あそこに シロクマも みえるぞ。





おや？ こおりのうえにある

しろくて おおきいものは もしかして…？

ちがうちがう。

あれは シロクマのママの おしりだったんだ。

なかよしで とっても かわいいなあ。

さあ つぎのぼしょへ いってみよう！






ここは からだが とけそうなくらい


とっても あついところだ。

いちめんが すなで いっぱいだったんだよ。





おや？ おみやげにそっくりな
かたちのものが 見えるぞ。
もしかして…？



ちがうちがう。

あれは たしか ラクダ。

せなかの コブが にていたね。

おみやげは どこにあるかな。

もうすこし にんげんが いるところを みてみよう。



あれは…ちがうちがう。

イヌ という いきものだ。





「さあ こっちに おいで。いっしょに すわろう。」
おや？ ちきゅうじんの こえも するぞ。

あっ！あれは もしかして おみやげ！

「あなたは ほんとうに ソファが だいすきね。」

なるほど。ソファと いうんだね。

ぼくたちは いつも フワフワ ういているから

すわることが おもいつかなかったんだ。





よし！ほかの　ちきゅうじんも　みてみよう。

ひとりで のびのび
つかってもいい。

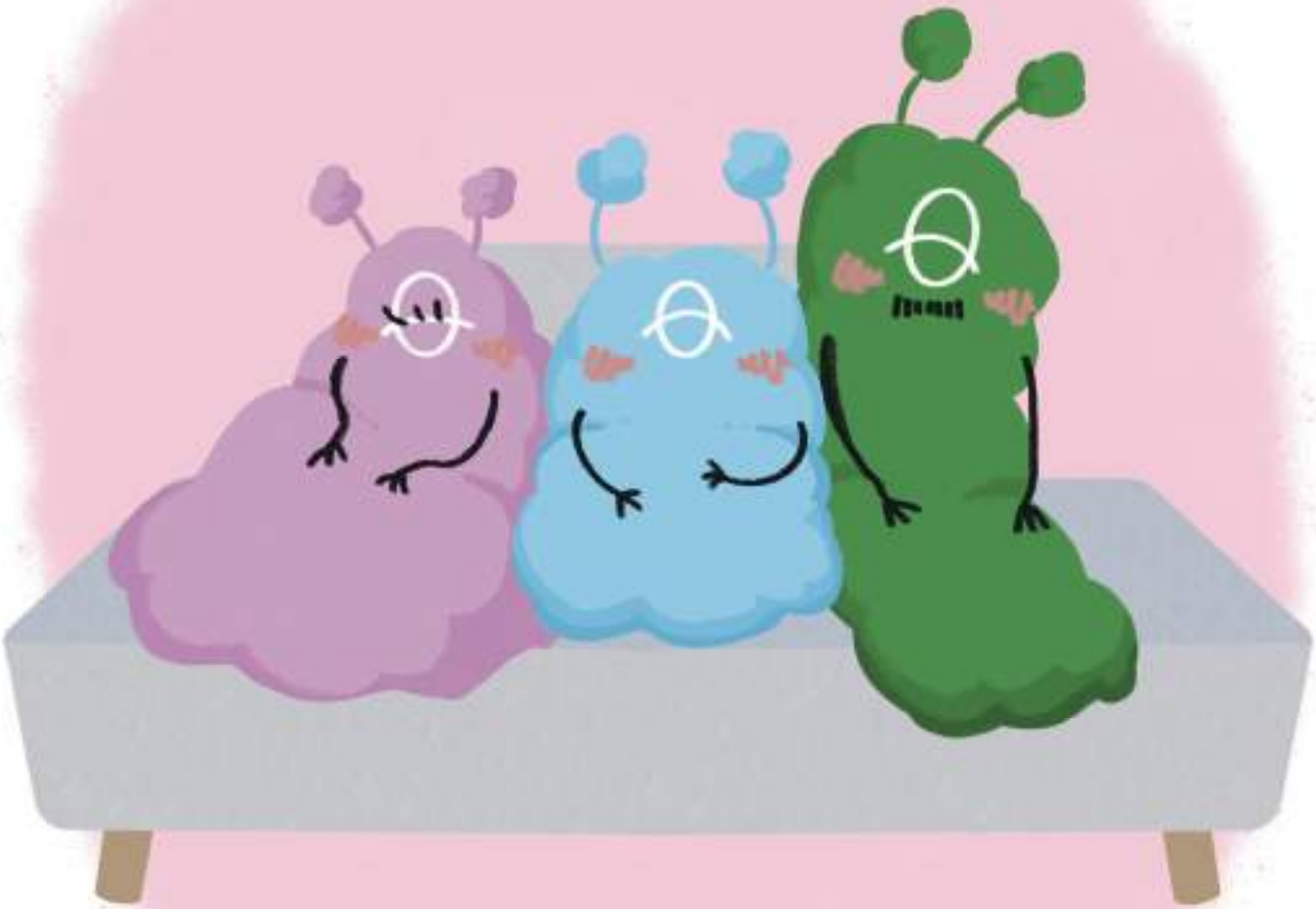


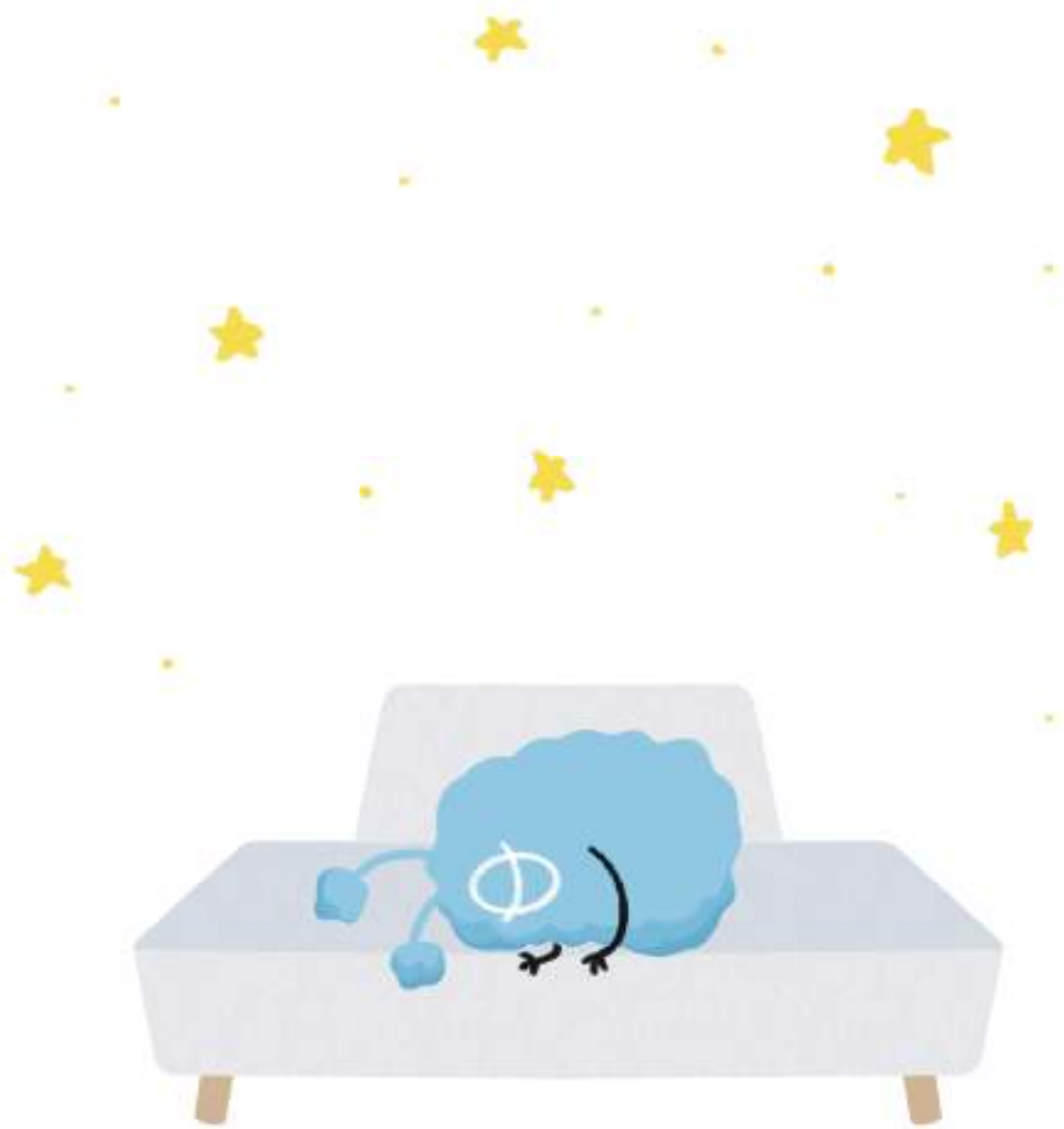
それぞれのソファに いてもいい。

だれでも つかっていい。



もちろん みんなで いっしょに つかってもいい。
フカフカで おおきな ソファ。
なんて こころが おちつくのだろう。
ぼくたちは ソファが だいすきになった！





もっと いろいろな ソファに であいたいな。

また ちきゅうかんこうに いこう。

もし ぼくたちを みつけたら

すてきな ソファを おしえてね。

NOYES

S O F A 1 0 0 %